

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	◎	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前と変わらない。前年比では118%である。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年より多少増加し、販売量の動きも良く、売上は前年比113.2%と好調に推移している。単価もそれなりに上がっている。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・ナフサ不足の影響による原材料価格の値上がりを前に駆け込み需要が発生しており、カーテンの注文が多くなっている。
	○	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・イベント出店時の売上が3か月前と比べると多少増加している。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・チェーン店全体ではばらつきがあるものの、現時点では景気の底は脱した印象を受ける。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・当社店舗の売上は、隣県では良い状況にある。ただし、当県では消費者がより慎重な購買行動を取っているため、隣県店舗の売上を6%ほど下回っている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数及び販売点数が増加している。売上も前年を上回っている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・1品単価が上がっているにもかかわらず、買上点数が増加している。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数の微減を単価がカバーしている。販売量も前年並みに回復している。自治体などが発行しているプレミアム付商品券の影響とみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・景気が回復したとまではいえないものの、セールを実施していることもあり、売上、来客数共に増加傾向にある。
	○	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・物価対策として低単価商品を充実させた結果、客単価が上昇している。
	○	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・自治体が発行している宿泊クーポンが好調である。クーポンの消化率も高く、県内の宿泊者数は増加している。一方、クーポンの適用対象が指定の宿泊予約サイトからの予約に限定されていることから、宿泊施設への直接予約と比べて利益率の低下が懸念される。来客数の動きだけを見ると、やや良くなっている。
	○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・春からサービスエリア拡大のための設備投資を始めている。工事完了区域から順次営業活動を行っており、新規加入者数は順調に伸びている。高齢者は放送サービス、若年層はインターネットサービスへの加入が多くなっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・燃料費の高騰により旅費交通費が増加しているが、入場者数は前年より増加している。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・ここ半年ほど続いていた来客数の減少は、どうにか下げ止まっている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・当地域では、地域経済の根幹ともいえる老舗企業の倒産が相次ぎ、地域の経営者に経済的、心理的に大きな影響を与えている。消費マインドは依然として高まらず、メリハリ消費の傾向がますます強まっている。また、低価格志向も強く、小売店としては、価格面だけを見てドラッグストアや大型スーパーと比較されると苦しいものがある。
□	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数は街でのイベント開催や来店動機となるコンテンツによって変動するものの、前年比マイナス傾向が続いている。	
□	百貨店（経営者）	販売量の動き	・営業施策の刺激に対する反応は鈍く、販売量は多少増えるものの継続的ではない。特にファッション領域ではセール前の慎重な購買行動がみられる。	
□	百貨店（従業員）	お客様の様子	・来客数は前年を上回っており回復傾向にあるが、購入は必要最低限であり、売上は前年並みとなっている。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	単価の動き	・平均1品単価は前年比2%弱と、価格政策もあり前月よりやや低下している。来客数は前年並みだが、買上点数は価格政策を行ったにもかかわらず前年割れが続いている。前年同月と比べて日曜日が1日少なかったが、売上は前年並みである。商品の価格上昇に客がまだ慣れておらず、価格に敏感で購買に慎重な姿勢がみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	販売量の動き	・全体的な景気は変わらない。ただし、前年と比べて気温が低いことから、販売量の低下がみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販促担当）	単価の動き	・来客数は前年とさほど変わらない。客の買い控えが見受けられ、客単価は前年比1～2%程度低下し、買上点数も減少傾向にある。ただし、原材料価格の高騰や仕入単価の上昇により1品単価は上昇している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて来客数はやや減少し、客単価は上昇している。全体でみると売上は前年並みを維持している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は気温や天候に左右され、安定していない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・法人関連では夏の作業服やアイスベストの売上は順調だが、店舗販売におけるお中元の出足が悪く、苦慮している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・扱っている商品の価格帯もあり、新規客はなかなか増えない。物価高の影響もあり、来店を控えている客も多い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・ここに来て高単価商品の動きが鈍くなっており、値頃商品やセール品といったお買い得商品が需要の中心になっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・売上、来客数共に前年比90%の状態が続いている。一方、原材料を始めとした物価の上昇に伴い販売価格が上昇しており、客単価は前年比100%となっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	単価の動き	・温暖化の影響や2027年からの新たな省エネ基準導入を前に、エアコンの販売は好調である。さらに、テレビもスポーツ大会等で需要が盛り上がり、販売量は前年を上回っている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車が出たにもかかわらず、それを見に来店する客が余りいない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客からは、物価上昇が続くなかで生活状況が前年とは変化しているという声を聞く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数や受注量は若干増えているものの、配車量が追いつかない。配車がないと登録台数が増えず、登録台数が増えないと売上につながらず、収益が出ない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・顧客の主な来店目的は点検・整備入庫であるが、来客数は3か月前比85%となっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・新車部門の売上自体はバックオーダーに支えられ前年超えて推移している。一方、足元の受注は前年を大きく下回っている。特に金利上昇に伴い、割賦販売が急速に減少しており、受注のブレーキになっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・中東情勢の影響を懸念してか、消費者は単価が若干高くても購入する傾向にある。全体的に小康状態といった印象を受ける。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・空調服関連を始めとした夏物の動きが前年と比べて良くない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は相変わらず少ない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は閑散期で、インバウンドも動かない時期である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・円安及び燃油サーチャージの高騰により、海外旅行の販売が苦戦している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	単価の動き	・客単価が上がっている。

□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の動向は例年と変わらない。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比95%で、過去1年の平均値となっている。物価上昇が消費を抑え込んでおり、売上増加に結び付いていない。
□	美容室（経営者）	単価の動き	・物価高の影響か、パーマやカラーの施術数は横ばいだが、付加価値メニューを選択する客が減っている。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・年配の常連客の来店数が減少している。
□	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅に関しては下がり基調だが、非住宅案件は増加している。総合的にみるとほぼ変わらない。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・リフォーム工事では、中東情勢の影響により原材料や資材の価格高騰の影響が出ており、工事完了の遅れや先送りも発生している。エアコンの交換は、2027年からの新たな省エネ基準導入を前に増加が続いている。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・値上がりが続いており、販売量が減少している。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価高が続いており、生活必需品以外の買い控えなど消費者の節約志向がうかがえる。
▲	百貨店（経営者）	単価の動き	・客単価や買上率の低下がみられる。
▲	スーパー（店長）	単価の動き	・以前は物価高でも催事やイベントでは客単価が上がっていたが、少しずつ客単価が落ちている。
▲	スーパー（店舗運営）	販売量の動き	・3か月前と比べて買上点数が減少している。
▲	スーパー（業務担当）	お客様の様子	・世界情勢の不安もあり、客はお買い得な商品を必要最低限購入する傾向にある。客単価、買上点数に伸びはみられない。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年を大きく下回っており、売上も2%減少している。近隣で週末に開催されるイベントが工事の影響により会場を変更しており、痛手となっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・地方では賃金が上がっていない。また、当地域は例年空梅雨が多いが、今年は梅雨らしい雨が降り寒いため、売上が悪い。
▲	コンビニ（経営者）	それ以外	・売上を上げるために商品を増やしても廃棄だけが増える。経費増加のスピードに売上が追い付かず、利益が減り続けている。人を減らそうにも、やることは増え続けているため難しい。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年は雨がほとんど降らなかったが、今年は雨も降り、気温も低いため、来客数が前年を割っている。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・税金や公共料金の代行収納の支払が多い。税金については、一括で支払う人が前年より増えている。また、先行きへの不安から、生活費を削ってでも優先的に支払う動きがみられる。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売数が減少している。
▲	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きに変化はない。
▲	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	販売量の動き	・客は戸建て住宅やマンション購入時、インテリア用品や電化製品もそろえたいと考えているが、物価高の影響により必要最小限のものしか購入しない。
▲	その他専門店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。競合店も苦戦していることから、靴や履物全体の動きが良くないようである。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売価格が高止まりしており、1件当たりの給油数量が減少している。また、中東情勢の影響により燃料油以外の商品の値上がりも続いており、販売件数も減少している。

▲	その他小売 〔ショッピング センター〕（統 括）	来客数の動き	・売上は前年比93%、来客数は同89%となり、大きく減少している。要因としては、飲食店の改装による閉店が前年より約20店舗増加したことが挙げられる。また、天候不順により夏物衣料の動きが鈍くなっている。さらに、物価高や中東情勢の影響により様々なコストが増加するなかで、食品関連業種でも来店頻度の減少がみられ、現場では消費者の節約志向の高まりがうかがえる。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて予約状況が悪い。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・今月は来客数がゼロの日も何日かあったが、他の日の客単価が良かったため、どうかしのいでいる。
▲	一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の来客数は前年比98%だったが、今月は95%を切っている。今月は連休がない分、平日のランチ、ディナーは数字をかなり落としている。
▲	観光型ホテル （スタッフ）	単価の動き	・客単価が例年よりも低下している。
▲	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・中東情勢の影響による物価高や品不足など不安要素が多いため、消費行動にメリハリがみられる。
▲	都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・国内旅行者が減少している。
▲	通信会社（営業 担当）	それ以外	・所得は上がらず、物価高だけが進んでいる。
▲	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・来客数は目標値に対し、3か月前は約106.1%だったが、今月は95%で下向いている。
▲	観光名所（職 員）	来客数の動き	・客単価やレジ通過客数は落ちていないが、来客数が減っているため、売上は小幅ではあるが減少している。
▲	観光名所（職 員）	来客数の動き	・市内から訪れる客が減っている。それ以外の国内客とインバウンドの数はそれほど変わらない。
▲	遊園地（経営 者）	来客数の動き	・学校団体は堅調だが、天候不順や節約志向等の要因により一般客が伸びず、来客数は前年を下回っている。
▲	ゴルフ場（支配 人）	お客様の様子	・前年と比較して、リピート回数が鈍化している。
▲	その他サービス 〔自動車整備 業〕（経営者）	販売量の動き	・客先の資金の都合や商材の入荷遅れにより、販売量が減っている。シンナーなどナフサ由来の資材は入荷のめどが立たず、塗装などの工事受注がストップしている。潤滑油や作動油も入荷のめどが立たないため、オイル交換などの作業ができず、客先の稼働にも影響を与えている。
▲	その他サービス 〔寮管理〕（管 理人）	お客様の様子	・ゴミ袋など石油由来商品は在庫がなく、あっても発注量が制限されるなど入手が難しい状況にある。材料価格の高騰により、経済活動に悪い影響が出ている。
×	一般小売店〔医 薬品〕（経営 者）	お客様の様子	・繁華街では悪質な客引きが多くなったため、今月から16～23時の間、警官や警備員が繁華街で取締りを行っている。繁華街を歩く人たちがその状況に驚き、店に全く入ってこないという日が続いている。
×	スーパー（経営 者）	お客様の様子	・自治体が発行する1人当たり7000円分の商品券が配付されている。今月末の使用期限が迫っているが、それでも無駄な買物は一切しない。
×	衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・近隣の競合店が完全閉店セールを実施しているため、多くの客がそちらに流れ、売上が大きく減少している。
×	衣料品専門店 （店員）	来客数の動き	・中旬頃から、スーツを目的とした来客が大きく減少している。クールビズや軽装化によりスーツの需要は減少していたが、ここに来てその減少傾向が加速しており、非常に厳しい状況になっている。
×	家電量販店（従 業員）	販売量の動き	・梅雨入りしたため、湿度だけが高く、例年よりも最高気温、最低気温共に低い日が続いているため、例年この時期に売上構成比が高い夏物商材の販売量が減っている。サッカーワールドカップの需要も思ったほど伸びておらず、景気は悪い。

	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・賃上げが物価上昇に追い付いておらず、多くの消費者が支出にかなり慎重になっている。レストランへの来店の数や売上が少なく、厳しい状況が続いている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・業種に関係なく、納入業者からは値上げをしているものの売上は減少しているという話を聞く。当社においては、来客数、売上共に減少している。
	×	競艇場(職員)	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が大幅に低下している。主な要因は大口客の減少である。
	×	設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・官公庁案件は価格競争の激化により受注環境が悪化している。民間案件は予定どおり実施される案件が減少している。
企業 動向 関連  (東北)	◎	—	—	—
	○	農林水産業(従業者)	取引先の様子	・さくらんぼ、桃の販売が始まり、顧客の需要が高まってきている。
	○	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・半導体関連の動きが活発となっており、全体受注売上が伸びている。
	○	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・受注した工事を1つ1つこなしている。また、大口工事を新たに受注している。
	○	その他非製造業 [飲食料品卸売業](経営者)	受注価格や販売価格の動き	・売上をけん引しているのは値頃感のあるレギュラー商品である。
	○	その他企業[企画業](経営者)	それ以外	・当地の観光土産店がにぎわいを見せている。地場特産品の野菜や多種多様な菓子類などが好評を博している。
	□	出版・印刷・同 関連産業(経営者)	取引先の様子	・業種を取り巻く環境や地方の中小企業の現状、中東情勢の影響による価格引上げに改善の兆しがみえない。世界経済の動きに翻弄されている。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・中東情勢を受けて、顧客の販売計画及び生産計画が慎重になっている。
	□	電気機械器具製造業 (総務担当)	取引先の様子	・具体的な案件の進展に乏しく、低調な状況が続いている。
	□	電気機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量に大きな変動はない。ただし、メモリなどの部材供給に遅延が発生しており、先行き不透明な部分もある。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・予定していた受注契約が交渉により1か月遅延している。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・人手不足によりこれ以上は受注量を増やせないため、受注量に変化はない。
	□	建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響が多少出ているものの、景気が良い状況は変わらない。
	□	通信業(営業担当)	取引先の様子	・価格低減要請の傾向は変わらない。
	□	金融業(広報担当)	取引先の様子	・全体としては企業の設備投資や個人消費は堅調であり、物価高は続いているものの、総じて景気が下向いている状況にはない。ただし、一部の企業においては原油由来製品の不足による影響が出ており、業種によってまだらな状態となっている印象を受ける。
	□	広告業協会(役員)	受注量や販売量の動き	・株価は高騰しているが、物価の更なる上昇が先行き不安感を呼び起こし、景気動向は足踏み状態である。広告業界の主要産業である流通、小売、エネルギー関連の広告出稿は、依然として低レベルで推移している。
	□	広告代理店(経営者)	取引先の様子	・景況感に不安定さはあるものの、広告出稿については大きな変化はみられない。
	□	広告代理店(従業員)	取引先の様子	・顧客の発注数は例年並みで、大きな変化はない。
□	経営コンサルタント	それ以外	・中東情勢によるマイナス要因と株高を始めとするプラス要因がきつ抗し、消費の現場はこう着状態にある。	

	公認会計士	取引先の様子	・顧客の月次、決算状況から判断している。小売業、サービス業は一定程度の業績を確保しているが、建設業、製造業の業績が良くない。資材価格の高騰、人手不足等の影響により工事の着手が遅れ気味で、中小企業にしわ寄せがきている。全体としては、景気はやや悪い。	
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	取引先の様子	・景況感に変化はない。	
▲	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・さくらんぼが県内全般的に豊作だったことで価格が低迷していることに加え、当方は不作だった。	
▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お中元ギフトは順調に推移しているが、駅構内店舗の土産需要は厳しい。物価高の影響が大きい。	
▲	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続いていることに加え、原材料価格の度重なる値上がりがあり、利益が出ない。	
▲	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・月の前半と後半で状況が大きく異なっている。飲食店、土産品共に伸長したが、中旬以降、特に平日は来客数が減少している。	
▲	木材木製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は前年と比較して低調のまま推移している。中東情勢による混乱は落ち着く方向に向かっているが、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁し切れていないため、板挟みの状態で、利益率が低下している。	
▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取扱貨物の荷動きの鈍化が続くなか、荷主との運賃等の値上げ交渉は進捗している。一方、人件費や燃料、車両、タイヤ等の価格上昇に伴うコスト負担の増加に、値上げが追い付いていない。	
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・印刷物の発注が大幅に減っている。	
×	窯業・土石製品製造業（職員）	受注量や販売量の動き	・官需、民需共に発注工事が大幅に減少しており、厳しい状況である。	
×	不動産業（従業員）	それ以外	・不動産相場の下落を売主が理解できておらず、供給過多の状態になっている。	
雇用関連	◎	—	—	
(東北)	○	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・中東情勢を受けて先行き不透明だったため、製造業、飲食業、卸売業、石油関連商品を扱っている企業などでは採用を一旦ストップしていたところが多かったが、先行きが見通せるようになり、採用を再開する企業が増えている。
	□	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・採用者数は、全国的にも前年比でも低調である。人手不足を補うための採用は大手企業を中心に減少している。人員の減少分について全てを補充するという考え方が見直されつつあり、業務の効率化やITツールの導入などで対応する動きが広がっている。その結果、採用要件が厳しくなっており、従来であれば採用されていた人材が採用に至らないケースもみられる。
	□	求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人以外の広告を出稿する企業数が減り続けている。その背景には原材料価格の高騰や人件費の増加に伴う広告予算の削減がある。広告出稿が増えない限り、地域全体の景気が上向いているとはいえない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・国がアルバイトの労働条件確認キャンペーンを実施している。中小企業は労働環境の適正化が求められている。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比では減少が続いており、3か月前比でも16%減少している。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・物価高により卸売小売業の採用意欲が低下している。製造業でも原材料価格の高騰による影響を訴える声を聞く。
	▲	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数は3か月前まで前年比約95%で推移していたが、直近は80～85%で推移している。
	▲	アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・市場価格の上昇スピードが速く、料金の値上げが追い付いていない。

▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が減少している。中東情勢に端を発する資材の価格高騰や不足といった影響が各方面に及んでいる。製造業ではA I 関連での半導体需要を背景に、電子部品製造などで増加している。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で3か月連続の減少となっている。有効求人倍率も1.1倍台となり低下傾向が続いている。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で有効求職者数は微増となり、有効求人数は減少している。有効求人倍率は6か月連続で前年比マイナスが続き、総じて弱含みで推移している。
▲	学校〔専門学校〕	求人数の動き	・求人数は前年よりも減少している。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・6月からは求人広告に加え、県内の企業広告の掲載も減少している。